

# 令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	17
--------	----

担当課	福祉課	担当課長	稲永 みき	
事業担当者	城戸 智美	一次評価者	阿部 哲也	
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有	
事務事業名	地域子ども・子育て支援事業			
予算科目	3 款 2 項 5 目			
予算事業名	子育て支援事業児童福祉施設運営費			
総合計画での位置づけ(施策名)	安心な子育て環境をつくる			
事業の性格	自治事務			
法令根拠等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、久山町地域子育て支援拠点事業実施要綱、久山町一時預かり実施要綱、久山町ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、久山町病児保育実施要綱等			
事業の対象	久山町に住所を有する子育て世帯			
事業の目的	地域子ども・子育て支援事業として位置付けられた13事業(地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、ショートステイ、病児保育など)により子育て世帯のさまざまなニーズに対して地域での子育て支援を図る。			
実施期間	開始年度	平成 17 年度から		
	終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	・地域子育て支援拠点事業 ・一時預かり事業 ・ショートステイ事業 ・病児保育事業 ・ファミリー・サポート・センター事業 ・届出保育施設運営補助事業 ・届出保育施設職員健診補助事業			
目的達成の指標(成果指標)	久山町子育て支援センター「木子里」利用者数(土日含む)			
	区分年度	単位	1 年度	2 年度
	目標	延人	5,000	7,000
	実績	延人	5,118	853
指標設定の考え方	地域子育て支援の拠点として位置付ける子育て支援センター「木子里」の利用者の増を図ることで、子育て支援情報の提供ができるとともに、養育に不安のある方を保健師につなぐことができる。			
計画時の懸案事項	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、ソーシャルディスタンスを保った中での子育て支援活動がどの程度できるのか十分な検討が必要である。			
計画時の懸案事項への対応	子育て支援センター木子里については、事前予約制で再開し、入館人数を管理したうえで、十分な換気や消毒の時間を確保する。 ファミサポ講習会など他の子育て支援事業については、消毒等新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで通常どおりの業務を継続する。			

**PLAN(計画)**

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 932円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.59	0.26	0.26	0.26
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	4,655	1,989	1,866	1,866
事業費	直接事業費	15,753	14,243	13,975	13,975
	人件費	4,655	1,989	1,866	1,866
	合計	20,408	16,232	15,841	15,841
財源内訳	国庫支出金	3,189	4,320	4,090	4,090
	県支出金	3,256	3,335	4,118	4,118
	地方債				
	その他	25	25	25	25
	一般財源	13,938	8,552	7,608	7,608
	合計	20,408	16,232	15,841	15,841

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目標	15,753	14,243	13,975	13,975	13,975
実績	12,403	13,242			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
参加世帯数 (にこにこひろば)	延世帯	2,000	2,000	1,000	1,000
		1,368	204		
参加世帯数 (赤ちゃんのへや)	延世帯	200	300	144	144
		144	58		
参加世帯数 (のびっこひろば)	延世帯	180	250	120	120
		121	42		
病児保育利用者数	延人	10	10	10	10
		0	0		
ファミサポ会員登録数 (久山町のみ)	人	50	80	80	80
		73	73		

**DO(実施)**

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 841円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.59	0.26	0.26	0.26
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0		0
	人件費(①×②-③)	4,655	1,989	1,989	1,866
事業費	直接事業費	12,403	14,243	13,242	13,975
	人件費	4,655	1,989	1,989	1,866
	合計	17,058	16,232	15,231	15,841
財源内訳	国庫支出金	3,256	4,320	4,191	4,090
	県支出金	3,192	3,335	3,304	4,118
	地方債	0	0	0	0
	その他	13	25	20	25
	一般財源	10,597	8,552	7,716	7,608
	合計	17,058	16,232	15,231	15,841

実施備忘録

--

# CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	城戸 智美
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	2	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	2	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> その他

## 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

子育て支援センター木子里は、自由来館であることで多数の利用者同士の交流が生まれる場所であったが、新型コロナウイルス感染症により施設が大きくないため自由来館での受け入れは叶わず、どのように再開するかを何度も話し合った結果、事前予約制等により大きな問題もなくスムーズに新しい生活様式での再開ができた。病児保育については、新型コロナウイルス感染症の関係で子どもの発熱時の保護者の職場の休みが取れやすく、全体的に利用者が減少している状況であるが、ショートステイ同様、万が一の時に利用できる事業として町事業として継続実施が必要である。

## 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

子育て支援センター木子里では、令和2年度からは「親育て」を主軸に子育て支援講習を強化する予定であったが新型コロナウイルス感染症予防対策のため多くの人を集めた講習会ができないことから、今後どうすればできるのか現場スタッフと協議を続けていく。ファミサポ、病児保育、ショートステイは身内で解決される場合が多いが、利用相談も多々あり、継続して周知していきたい。特に病児保育については今後福岡都市圏での広域利用の案があり、支出は増えるが利用者の利便性は格段に上がるため引き続き動向を注視していきたい。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	阿部 哲也
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？ <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4 4 4 4	B
2. 町が実施する必要があるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3 3 3	A
3. 実施内容は適切か？		
①有効性 <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4 4 4	B
②効率性 <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4 4 4	B
③公平性・透明性 <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4 4 4	B

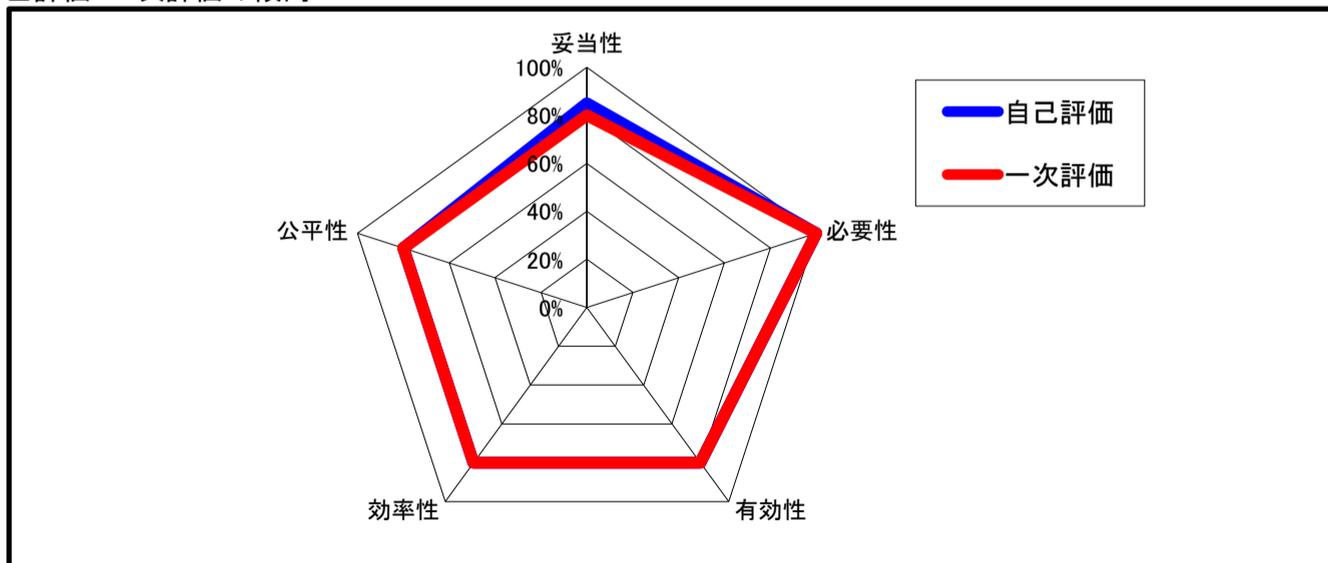
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため緊急事態宣言がだされ、子育て支援センター木子里を閉館する期間があった。しかし、この施設は利用者同士の交流を生む大事な場所でありニーズも高いため、緊急事態宣言解除後の利用方法を検討し事前予約制等の対策を行いながら再開した。病児保育事業やショートステイ事業については、利用が少ない状況ではあるが、もしものときにあるべき事業として継続して実施する必要がある。ファミリー・サポート・センター事業も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用は減っているが、この事業もニーズはあり必要な事業のため継続して実施していく。

自己評価・一次評価の傾向



# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

稲永 みき

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防策を検討し、その対策を講じながらの事業実施となったため、利用者数は減少したが、今後も事業は継続していく必要がある。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会  
で評価する。

月 日  
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり  
直し、  
月 日  
までに提出すること。

評価終了  
 外部評価へ

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

## 外部評価

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		外部評価委員の意見

## 経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		経営者会議の結果

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)